（別紙１）

○ 本評価表は、保育所等訪問支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
○「はい」又は「いいえ」のどちらかに〇を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
体制整備・環境	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	○		適宜、必要な教材は（個別に）購入し、使用している。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		現在の職員配置は、法令で定める人員基準を満たしており、支援をお待たせすることなく対応できる体制を確保している。 今後、利用希望者が増加した場合には、法人内で人員体制を見直し、必要に応じて増員を検討していきたい。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		支援報告書で常に、目標設定と振り返りを行っている。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度行っている。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか 。	○		管理職と常に連携をとっている。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	実施していない。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に1回の全体ミーティング時に研修を行っている。 また、外部研修への周知もできている。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		個別支援計画書では、発達検査・日々のご様子からアセスメントし計画書を作成している。 毎回の報告書内でも、アセスメントを行い、次回の支援へと繋げている。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか 。	○		支援者と常に連携をとっている。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		ほぼ毎回、支援終了時に訪問先の先生と情報共有を行い、 支援へのご意見を伺い進めている。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		支援報告書での内容をご協力いただいている。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達検査結果をもとに、行動観察を含めたアセスメントを 毎回実施している。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを意識した支援内容としている。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		関係機関と連携をとり、一貫した支援となるように 情報共有している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	現在訪問支援者は1人のため行っていない。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		報告書にて全管理者に報告している。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		初めて訪問する際は、学校長、担任教諭と 必ず打ち合わせを行っている。
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		常に行っている。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に一度行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		毎回できている。
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	学校とは連携できているが、そのほかの機関とはできていない 場合もある。
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	今後機会があれば、保護者の同意を得たうえで、移行先（学校・保育所等）へ 支援内容や配慮事項をまとめた引継ぎ資料を提供し、必要に応じて
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		医療機関での療育見学、専門職からの助言を受け、 支援に反映している。
	24	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○	現在、(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等への参加は行えていない。今後は、開催案内の収集や関係機関への問い合わせを行い、可能な範囲での参加を検討したい。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		行えている。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		必要時、情報提供は行っている。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約時に行っている。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		初回支援開始前に、学校長及び教頭先生に説明している。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○		保護者作成のアセスメントシートを基本的には活用している。 また、日々の報告書等のやり取りの中でも、 保護者、ご本人の意見を聞き、反映している。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		行っている。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		行っている。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	法人で保護者会等を定期的に開催している。 きょうだい同士で交流する機会は、現在設けていない。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申入れについては、支援報告書や訪問時に随時お伺いする体制を整えており、契約時に相談窓口（管理者）をご案内している。 いただいたご意見・ご要望は速やかに検討し、可能な限り次回の支援内容に反映している。

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	現在、定期的な通信の発行やHP・SNS等を活用した情報発信は実施できていない。今後は、法人ホームページでの事業所情報の掲載や、年数回程度の便り（通信）発行など、実施可能な範囲での情報発信を検討したい。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		できている。 紙媒体を破棄するときにはシュレッダーを使用している。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		訪問時の様子は報告書内で詳しく報告している。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問時やご連絡があった際には行っている。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		情報共有を行っている。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		毎回行っている。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		できている。 紙媒体を破棄するときにはシュレッダーを使用している。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		先生方の意見を尊重しながら、専門的な助言を行うよう注意し、信頼関係構築を行っている。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	法人内ではできているが、保護者への周知はできていない。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	安全計画を作成しているが、安全管理に必要な訓練は実施できていない。 今後は、移動中の事故や訪問先での怪我等、訪問支援特有のリスクを踏まえた訓練も検討したい。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		法人全体で行っている。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会を設置し、法人内で行っている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		全体ミーティングを通じて法人内で共有している。